



慶應義塾大学ビジネス・スクール

S 建設株式会社

5

—井上倫子—

S 建設株式会社に勤める井上倫子^{ともこ}（26 歳）は、初春のつかの間の暖かい陽光が差す日曜日、自室のソファに横になりながら今後の自分のキャリアをどのように形成して行こうかと悩んでいた。このまま今の会社に勤め続けるのか、今の会社を辞めて他の会社に移るのか、会社とは関係のない別の道に進むのか、人生において「これこそが自分だ」という確固とした自己概念を持つにはどうすればよいのかについて、深く考えていた。

10

S 建設入社の際緯

15

井上倫子は、1989 年に関西の私立大学の商学部を卒業し、S 建設株式会社に入社した。彼女は、地元関西の進学校から学校推薦でこの大学に入り、生来の真面目さから勉学に真摯に取り組み、在学中には成績優秀で何度か表彰されたほか、卒業時には副総代に選ばれるなど極めて優秀な学生であった。

20

彼女の入社した S 建設は、主としてデパート、ホテル、ブティックなどの商業店舗を手がける建設会社で、東京に本社があるほか、大阪・名古屋・仙台・福岡など主要都市に支店を持ち、この業界では全国に名の知れた会社であった。

彼女が就職活動をした 1988 年は、日本経済が「バブル景気」を謳歌していた時代で、女子学生であっても苦勞せずにくつもの会社から内定がもらえる時期であった。実際、井上倫子も東京の大手情報機器メーカーの子会社のコンピュータ・ソフト・メーカー、大阪に本社のある広告代理店、同じく地元大阪の卸を専門とする繊維関係の商社、そして S 建設の 4 つの会社から内定をもらっていた。4 つの内定先の内のどこに就職するかについて迷った彼女は、それぞれの条件

25

このケースは慶應義塾大学大学院経営管理研究科（ビジネス・スクール）渡辺直登助教授がクラス討議の資料として作成したものであり、経営管理の巧拙を例示するものではない。

30

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 渡辺直登（1997 年 12 月作成）